

平成 23 年度 宇都宮市立瑞穂野中学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

【基本目標】人間尊重の精神を基盤に、豊かな心と個性をもち、自主性・創造性を発揮して、21世紀をたくましく生きる人間を育成する。

【具体的な生徒像】

- ・心身ともに健康で気力あふれる生徒
- ・自ら学び創造性に富む生徒
- ・勤労を尊び責任感のある生徒
- ・思いやりがあり心豊かな生徒

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

生徒が達成感を味わえる学校、保護者・地域住民から信頼される学校づくり

3 学校経営の方針（中期的視点）

- (1)生徒主体の学校実現のため、学校が生徒にとって温かで過ごしやすい環境となるように努める。
- (2)教師自ら豊かな心と愛情を持ち、全校的な協力体制のもとで、本校の歴史と伝統を生かした、調和と統一のある教育活動を展開推進する。
- (3)必修教科、選択教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間を通して、生徒自らが考え行動できる資質を養うため、創意ある教育課程編成に努める。
- (4)多様な生徒の存在を認識し、適正な生徒理解や指導方針に基づき、個に応じた適切な指導ができるように努める。
- (5)教職員は、常に自己研鑽に励み、専門職としてその資質の向上に努める。
- (6)保護者や地域社会との連携を密にし、地域に根ざした開かれた学校をめざし、特色ある学校づくりに努める。
- (7)本年度の努力点と具体策を設定し、その具現化に努め、教育目標達成をめざす。

4 今年度の重点目標（短期的視点）

（学 校 運 営）

地区内小学校・家庭・地域との連携を図り、生徒の学びの質を向上させる学校づくりの推進

（児 童 生 徒 指 導）

思いやりの気持ちを持ち、正しい判断のもと、粘り強く最後までやり遂げることができる生徒の育成

（健 康 ・ 体 力）

自ら進んで健康や体力の向上に励むことのできる生徒の育成

（学 習 指 導）

自ら考える力を育成し、基礎基本の定着を図る学習指導のあり方の工夫

（目標を明確にしたわかる授業を通して）

5 自己評価（A は共通評価指標、B は学校独自評価指標）

（評価指標の【全】は、全体アンケート実施）

（「主な具体的な取組の方向性」には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入）

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体	A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 85%	・行事等での生徒の活躍の場を積極的に取り入れる。 ・生徒の実態に即した指導計画を立て実践する。	B	【達成状況】 保護者の89%、生徒の94%、地域住民の100%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 生徒主体の活動を多く取り入れ、意欲や連

の 状 況				帯感を高める。
	A2 教職員は、組織の一員として誠実で熱心に教育に当たっている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 80%	・教員研修の充実を図る。 ・部活動を効果的に実施する。	B	【達成状況】 生徒の96%が肯定的に回答しているが保護者は78%であった。 【次年度の方針】 授業のみならず、日常的な生活指導・部活動においても生徒の自己実現のためにきめ細やかに指導する。
	A3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 80%	・生活目標を設定して生徒にきまりやマナーについて考えさせる。 ・定期的な確認や声かけを全職員共通理解の下実践する。	B	【達成状況】 教職員の100%、生徒の90%、保護者の90%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 服装や始業時間等、基本的な事柄については指導の徹底を図る。
	A4 わかる授業やきめ細かな指導で学力向上を図っている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 80%	・生徒の実態に応じた、分かりやすい授業の実施に努める。 ・体験的・問題解決的な授業を多く実施する。 ・保護者に授業参観への出席を呼びかける。	B	【達成状況】 生徒の90%が肯定的にとらえている。 保護者は58%にとどまっている。 【次年度の方針】 教材研究をより充実させ、分かる授業の展開に努める。 保護者アンケートで「分からない」という回答が多く、今後も継続的に授業参観への出席を呼びかける。
	A5 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 85%	・学校行事を精選するとともに、効果的な運用を行い、教育課程を適切に実施する。	A	【達成状況】 保護者の97%、生徒の94%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 土曜日の効果的運用を検討する。
学 校 運 営 の 状 況	A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、「地域の学校づくり」が進められている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 85%	・学校だよりやHPにより、自治会回覧板等を活用し、学校の情報を発信する。 ・学校公開日を設定する。 ・学級便りの発行を推奨する。	B	【達成状況】 保護者の91%、地域住民の94%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 学級だよりを発刊するクラスが増えつつあるので、今後も継続的に推奨する。
	A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 80%	・PTA行事には、教職員が積極的に参加できるようにする。 ・地域協議会を核として、地域ボランティアの活躍の場をつくる。	A	【達成状況】 保護者の72%、地域住民の88%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 地域の教育力を積極的に学校に取り込む。
	A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 80%	・生徒の作品等を掲示し、学習意欲を高める。 ・日常の清掃活動の充実を図る。	B	【達成状況】 生徒の97%、保護者の87%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 清掃分担を見直し、少人数でもより効率的にできるようにする。

教育活動の状況		A9 学校全体で、教職員一人一人の指導力向上に努めている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 80%	・職員研修を計画的に実施し、教師が互いに授業を見合うなど、授業力の向上に努める。	B	【達成状況】 教師の92%が肯定的に回答しているが、保護者は70%にとどまっている。 【次年度の方針】 職員研修をより充実させる。
		B1 ①保護者や地域との連携による生徒の健全育成 ②職員間の共通理解による生徒の健全育成 【数値指標】 肯定的評価 80%	・家庭訪問、三者懇談等により保護者との連携を図る。 ・魅力ある学校づくり地域協議会を中心とした事業を展開し、地域との交流を図る。 ・学年を越えて情報交換を密にし、組織を生かした指導を展開する。		【達成状況】 保護者の70%、地域の75%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 学年保護者会など、生徒の状況や方針について共通理解を深める。
	生活	A10 自ら進んであいさつし、気持ちの良い言葉づかいをしている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 80%	・生徒会によるあいさつ運動を実施し、進んであいさつができるようにする。 ・あいさつ強化週間を設定する。 ・地区内の小学校と連携して実施する。	A	【達成状況】 教職員の96%、生徒の97%、保護者の90%、地域住民の88%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 生徒会を中心に、小中学校・地域が連携してあいさつ運動を実施する。
		B ①基本的生活習慣の指導 ②規範意識の高揚 ③望ましい集団づくり ④個に応じた指導の充実 ⑤家庭、地域、各関係機関との連携 【数値指標】 肯定的評価 80%	①スタンダードダイアリーの活用 ②いじめのアンケート ③QU 検査 ④各種だよりや保護者会での啓蒙啓発 ⑤のぞましい言語環境づくり ・地区内の小学校と連携して実施する。		【達成状況】 生徒の88%が肯定的に回答しているが、保護者は64%にとどまっている。 【次年度の方針】 日記指導を継続し、生徒に寄り添った支援を行う。
		A11 毎日朝ごはんを食べ、栄養のバランスを考えた食生活をしている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 80%	・朝食の摂取状況を定期的に調査し、改善を図る。 ・バランスよく食べることの重要性を理解させ、意識の高揚を図る。	B	【達成状況】 教職員の84%、生徒の78%、保護者の85%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 地区内の小学校や家庭と連携して取り組む。
		健康・体力 ・B ①望ましい食生活習慣の育成 ②健康・体力の向上 ③家庭や地域との連携協力 【数値指標】 肯定的評価 80%	①食生活アンケートの実施 ②体育の授業で補強運動 ③保健だより、給食だよりの発行 ④メニューの工夫 ・地区内の小学校と連携して実施する。		【達成状況】 積極的な運動への取組は保護者94%、教職員の92%が肯定的に回答しているが、生徒78%にとどまっている。 【次年度の方針】 季節や行事と関連させたり、検定表を活用したりするなど、生徒一人一人が積極的に運動できるようにする。

学 習	A12 授業に意欲的に参加し、基本的な学習態度・技能が身に付いている。〔全〕 【数値指標】 肯定的評価 80%	・学校園内で学習態度・技能の指標をつくるとともに、全校体制でチャイム着席を励行し、落ち着いた態度で授業に臨むようにする。 ・生徒に具体的な目標を持たせ、継続的に取り組めるように指導する。 ・生徒が主体的に活動できる学習活動を工夫する。	A	【達成状況】 教職員の72%、保護者の60%、生徒の77%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 基礎基本の確実な習得のため、個別指導をより充実させる。
	B ①基礎基本の確実な定着 ②学習指導の工夫・改善 ③読書活動の充実 ④家庭・地域との連携・協力 【数値指標】 肯定的評価 80%	①漢字と計算テストの実施 ②放課後や長期休業中の補修授業による指導 ③朝の読書活動 ④図書館便りの発行 ⑤保護者会での家庭学習の啓発と協力依頼	A	【達成状況】 教師の96%、生徒の87%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 義務教育9年間を見通し、小中学校で目標を決め、継続的に指導していく。
本校の特色・課題等	B 友だちや教職員、地域の方々とのかわり合いを深め協力して行う活動を体験する中で、地域のよさを自覚し郷土への親近感を持ち、社会の一員としてよりよい生活を築いていこうとする態度の育成 【数値指標】 肯定的評価 80%	①学校行事、生徒会活動による地域との交流 ②総合的な学習の時間などでの地域人材の活用と地域との交流 ③地域行事への生徒・教職員の積極的な参加 ④瑞穂野地区学校園を核としての小学校との連携	B	【達成状況】 地域行事への積極的な参加では生徒の71%が、地域が好きでは90%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 地域の行事に積極的に参加できるような環境づくりに努める。

〔総合的な評価〕

- ・多くの項目で設定した数値指標（肯定的回答80%～85%）は達成されており、教育目標に即して充実した学校教育が実践されたと考える。
- ・教職員の学習指導については、肯定的な割合が他の項目と比較して低くなる傾向があるが、「分からない」と回答した保護者も多く、学校に来て見てもらう努力が必要である。
- ・生徒はあいさつがよくでき、地域の方や他校の教職員からの評価も高い。地域の活動にも積極的に参加する生徒も見られる。部活動も熱心である。
- ・落ち着いて学習に取り組むことができるが、やや消極的な面があり発言が苦手な生徒が多い。

6 学校関係者評価

- ・開かれた学校となるように、地域・保護者・学校が連携を深めるとともに、地域の小学校とも一丸となって瑞穂野の教育活動を推進していくことが大切である。
- ・学校教育、学校経営など、全体的に肯定的な回答であるが、学習の指導方法等については保護者と教員・生徒の回答に差がみられるので、学校や授業の様子などを多くの保護者に知ってもらうよう広報することが必要である。
- ・中学生が地域の様々な活動にボランティアとして積極的に参加してくれるので地域の方も感謝している。今後もより一層かわりを深め、地域を大切にする生徒を育ててほしい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

学校評価については、生徒・保護者・地域の方から貴重な意見をいただき感謝しています。この結果を受け、平成 24 年度の学校経営について新学習指導要領の趣旨をいかしながら、特に下記のことに重点的に取り組んでまいります。

- ・生徒一人一人の良さを認め、生徒が夢と希望を持って学校生活が送れるようにする。
- ・生徒が、学習の目的を意識し、目標を持って取り組めるようにする。
- ・小中学校で連携し、基礎的、基本的学習内容の習得をより確実にする。
- ・地域と積極的にかかわり、地域を大切にする生徒を育てる。